

向日市地域活性化会議 第2回商業部会 会議要旨

日時	平成21年4月20日(月) 19:00~20:30
場所	向日市役所3階大会議室
内容	1 開会 2 議事 (1) 前回会議の検討事項について (2) 商業活性化策について 3 その他
出席者	高嶋委員(司会)、吉田委員(オブザーバー)、小森委員、田中委員、戸村委員、永井(誠)委員、布施委員、佐野委員、能勢委員、森久委員、瀧山委員、和田委員

1 開会

2 議事

(1) 前回会議の検討事項について

- 資料説明 -

キリンビール京都工場跡地について

(2) 商業活性化策について

委員(司会)

- ・今後、北部にまちの重心がかかっていくことを念頭に考えることが重要になる。
- ・本日は「阪急東向日駅～JR向日町駅」「阪急西向日駅～向日神社」という2つのテーマを設定し、議論をお願いしたいと思うが、特に北部開発が「阪急東向日駅～JR向日町駅」に与える影響は大きい。どのように賑わいをつくるか、そこに市民がどのように参画するかというかわり方も重要になる。
- ・まず、「阪急東向日駅～JR向日町駅」の活性化について意見をいただきたい。

委員

- ・当初、駅間の安心して歩けるまちづくりについて話し合いを行い、歩道にベンチを置くといったことを話し合ったが、現在では最寄品を扱う店が東向日駅周辺の店以外にほとんどない。果たして賑わいは取り戻せるのか。また、東向日にある大型店舗周辺地域を回復させる力はあるのか。

委員(司会)

- ・現在の商業ビジョンではイベントの展開などが提案されていたが、現状はどうか。

委員

- ・ポイントカード事業や落語会の開催などをやっているが、成果はあがっていない。ポイントカードは発行枚数が増えていないものの、換金率は7~8割と高い。

委員

- ・ポイントカード事業には全店が加盟しているのか。

・店によってはこちらから言わなくてもカードの有無を聞いてくれるが、聞かない店も多い。言ってもらえれば出しやすく、言われないと不満にも思う。

委員

・カード事業に加盟している店舗かどうかわかるような目立つ看板があればお客にもわかりやすく、カードの普及も進むのではないか。

委員

・カードの特典はどのようなものか。

委員

・5万円分の買物をすると、500円の金券を渡す。

委員（司会）

・使える店舗はどれくらいか。

委員

・40店舗ほどだが、減少傾向にある。また、店舗は連続していない。

委員

・駅間は以前、道路が狭かったが、少しずつ歩道も整備が進み、飲食店を中心に店舗も増えつつある。東向日～JR間の整備が今後も進めば、店舗の張り付きも期待される。

・JR向日町駅東口が整備されれば、かなり多くの人利用し、阪急東向日駅周辺まで歩く人も増えるのではないか。

事務局

・歩道を含め12m幅員にすべく努力している。

事務局

・ポイントカードを他店が実施しているカードと共同化できないか。

委員

・働きかけたが、相手のカードの方が高度で、こちらがそれだけの投資をできないということで断念した。大型店舗は地元と一緒にできないということだった。

委員

・お客さんはポイントカードをたくさん持っている。カードをつくってもらえば、何年かはちゃんと使えるようにしないと、信用を落とす。また、実施するなら「なるほど得だ」と思われるようなものでなければ、インパクトがない。継続的なものより、瞬間的、年に何回かの催し型の方が良い。

・JR～東向日間に飲食店が増えているが、どんな店かわからないと行きにくい。市民ガイドブックをつくるなら、商売・商店のガイドブックもつくり、商店や飲食店の紹介、ランチメニューの紹介などができれば随分違うのではないか。特に若い人は情報を掴んでいるが、高齢の人でも利用しやすくするきっかけができればよい。

委員（司会）

・地域情報の集約と発信は重要。

委員

・商工会がウェブモールを設置しており、多くのホームページ置かれ、かなりのアクセスがある。パソコンを使える人が対象ということになるが。

委員（司会）

・ホームページの更新はどうしているのか。

委員

・各店から要請があれば対応するようにしている。しかし、最初につくったまま放置というところも少なくない。

委員

・更新しているところは頻繁に更新している。商工会の看板があれば、安心につながる。

委員

・最近できたエスニック料理の店はチェーン店だが、盛況。地元の人だけでなく、結構遠方からも集客している。

・お年寄りが入りやすい店が少ない。

委員

・地元でくつろげる店がない。

委員

・東向日～ＪＲ間だけでなく、エスニック料理の店なども拾っていけば、つながりのあるルートが描けるのではないか。

委員

・東向日～ＪＲ間は危険で歩きたくない。

委員

・あの周辺の道路が拡幅されれば、一気に状況が変わる。

事務局

・できるだけ早くに交渉をまとめるべく、努力している。

委員

・東向日駅周辺が飲み屋かが多く、塾帰りの子どもが安心して歩けない。防犯上からも、一般商店が張り付くようなまちづくりを進めてほしい。

委員（司会）

・ＪＲ駅前はどうか。

委員

・商店も喫茶店も少なく、電車を利用するために行くだけ。公園でもできれば良いが。

委員

・深田川橋公園も使う人は少ない。

委員

・お年寄りが利用している。

委員

・西側部分には商店が集積しつつあるが、東側にはほとんど商店がない。人が多く通るようになれば変わるだろうが。

・キリンビール京都工場跡地は年間 1000 万人の集客を目指すとのことであり、それを見過ごしてしまうのではなく、北部から東向日駅周辺への道路を整備し、人が通るようにしたい。

委員

・「キリン跡地に行くため」の道路になるかもしれない。東向日～向日町が通過地点になり、お金が落ちなくなる可能性もある。

委員

・観光資源を活用し、来訪者の何%かでも市内を周遊してもらえるようになれば、お金を落とす仕掛けも考えられるのではないか。

(西向日～向日神社)

委員

・今月はハイキング客が非常に多い。サクラの季節には土日はもちろん、平日でも多くの来訪者がある。どこかがイベントを企画しているのか。

事務局

・観光協会でもJRと協力してふれあいハイキングを企画・運営しているが、JR発着なので、民間団体が企画しているのではないか。

委員(司会)

・土産物などは帰りに買うことになると思うが、帰りはどこから乗車しているのか。

委員

・帰りは別の駅から乗車しているようだ。

委員

・光明寺から長岡京に行く人が多いのではないか。

委員

・逆回りにして、西向日駅から乗車してもらおうようにしなければいけない。

事務局

・長岡京市、大山崎町、八幡市とともに、阪急沿線で歴史ウォークを実施している。また、5月8日にJR西日本と協力して開催するふれあいハイキングの参加者を募集中。歴史ウォークは1000人程度の参加、ふれあいハイキングは定員30人がいつも一杯になる。

委員

・JRは2~3ヶ月前に情報を出せば、JRウォーキングという駅置きのパフレットに掲載してもらえ、PR力がある。

委員（司会）

- ・観光協会はどのような構成になっているのか。

事務局

- ・会員は全て民間。事務局は行政が持っている。

委員

- ・まちを案内する歴史インストラクターでもいればよいが。

委員

- ・資料館に案内ボランティアがいる。

委員

- ・向日神社～大極殿～須田家など、持てる資源を結びつけ、西国街道の整備を併せて考えられないか。また、土産物を買ってもらうためには帰り道を考える必要がある。

委員

- ・こちらからプランを組んで提案・売り込みを図らないと人は来ない。

委員（司会）

- ・観光案内所はないのか。

委員

- ・今はない。観光協会などに協力いただき、案内所やイベントのできるスペースをつくりたいが。
- ・コスト面から言えば、飲み屋やパチンコ屋でなければ厳しいのか。夜になると極端に人が少なくなる。

委員

- ・市全体としての消費は市外に逃げているのか。

委員

- ・市外に消費が流れている。
- ・人が歩けばモノを買ってくれるというわけではない。ワクワクできるもの、情報発信できるものをつくれば、我々商売人もそれに乗ってPRができる。また、商売人はそういうことが好きである。
- ・この2～3年のことを考えるなら、具体性のあるものをやってみようか。例えば東向日～JR間でどんな飲食店があり、どんなメニューがあり、何がどんな値段で食べられるか、従業員や料理の写真まで載せて紹介できれば、人の動きづくりにつながる。

委員（司会）

- ・商工会の加盟企業が減っているのはどのような理由からか。

委員

- ・大部分は廃業に伴う脱会。昭和20～30年代に資産をつくって、子どもには後を継がせないという人が多く、会員紹介冊子をつくらうとした時も、投げかけた40件のうち20件しか原稿が集まらず、他人任せが多い。ホームページでも「誰かがつくってくれるなら」という姿勢である。

委員（司会）

- ・冊子はどのように活用したのか。

委員

- ・3年前だが、12000部作成、配布した。金券が当たるクイズも掲載していた。

委員

- ・定額給付金にあわせ、プレミアムをつけた商品券を販売し、行政が助成するという商店街が増えている。

委員

- ・当地でも、2200円分の金券を2000円で販売している。

委員

- ・私が活動をしようとしたきっかけは、市内の団体や配布資料が全然知られていない、というところから来ている。本当にやりたかったのはフリーペーパーで、店舗から協賛をもらって実施しようと1件3000円で写真・デザイン等込みの条件で100店くらいに声をかけて周ったが、30件くらいしか賛同が得られなかった。積極的でない人が多いと、やる気のある人のスピードを落としてしまう。向日市をよくしようと思えば、カテゴリーに関係なく、やる気のある人が集まり、情報を集めて進めた方が良い。

委員

- ・安いかどうかよりもワクワク感のある情報を提供できるかどうか重要。

委員

- ・えきえきストリートのパンフレットでは、情報が少なく、また店舗情報もお店の概観が写っているだけなど、つくことで終わってしまっている。どう活かすかという視点でつくられていない。
- ・情報を発信したい、掲載したいという積極的な姿勢を持つ人だけで集まった方が取り組みやすい。

委員（司会）

- ・そういう時には作業は外注した方が良いのか。

委員

- ・個人でやるのは大変。費用をかけても、回収できるような情報誌をつくるべき。ある程度のレベルのものでなければ、見た人が行く気にならない。

委員

- ・商店街単位でチラシ等をつくっているのか。

委員

- ・個々の店舗ではつくっている。

委員

- ・商店会でチラシを作成するのは年に3回（年末2回、夏1回、その他定額給付金時など臨時）

委員

- ・店舗の情報を知らない人が圧倒的に多い。また一店舗では情報発信は難しい。「PRしろ」と言ってもできないので、誰かが声をあげる必要がある。ただ、任せきりになってはだめ。

委員

- ・100件分くらいの情報はないと、面白くない。

委員

- ・私が一人で集めても 20 件は集まった。

委員（司会）

- ・活動主体はどうするのか。

委員

- ・専門家と一緒にやる必要がある。

委員

・シルバー市場向けの対応も考えてはどうか。京都府でもハードをはじめ、子育て支援やカルチャー教室など、お年寄りや女性向けのコミュニティづくりに取り組みつつある。時代は囲い込み（来て、安らいでもらう）である。

・頑張っているところは、お年寄りの世帯に御用聞きにも周っている。そういうことがどこかでできないか。

委員

- ・商店街でも募集したが、最寄品を扱う店がないので共同配送をしようにも商品をそろえられない。
- ・消費の流出は大きい。まちが便利すぎて、京都駅や河原町に消費者が出て行ってしまおう。

委員

- ・市内で買物をしたいと思わない。食べに行くにも魅力のある店がわからない。

委員

・今回の取組を通じて初めて知った店もある。しかしまだまだ市民にも知られていない店が多かったり、あるいは昔ながらの作りで入りにくかったりする。入店してみれば意外に居心地がいいが、そういうところはあまり宣伝をしない。

- ・裏路地を歩く楽しみというのもあるが、どう考えるか。

委員

・見た目は大丈夫かと思っても、食べてみると美味しい店も多い。そういうところにスポットを当ててあげれば、イメージが変わる。

・雑誌をつくり、共通ロゴマークをつかって店に張り出してはどうか。宣伝してもらい、来てもらった人に良かったと思ってもらうのは我々商売人の仕事になる。

委員

- ・長岡天神前も長岡京駅前も夜はゴーストタウンのよう。居酒屋でも明るいだけ東向日のほうが良い。

委員

- ・西向日はもっと街灯をつけてほしい。

委員

・街灯の数は昔と変わらない。むしろ個人宅がみんな雨戸を閉めてしまい、暗くなった。もちろん防犯上の用心は必要として、雨戸を閉めるのを少し遅くする、門灯をつけるといったお互いの意識を変えることが大切なのではないか。

委員（司会）

- ・商工会の創業支援の成果・課題は。

委員

- ・商工会を利用する人のほとんどは、創業支援でなく融資目的。ほぼタッチしておらず、具体的な取り組みも経営相談程度。空き店舗の斡旋などは行政がやった方が信用力は高い。

委員

- ・京都府でも、開業・起業意欲のある人に支援・助成ができる。困っているのは、商店街・商工会の仕掛け人がいないこと。いわば、選手（プレイヤー）がおらず、口出しをするコーチばかりがいる。
- ・制度があっても使う人がいない。制度を使う人を育てることが課題と言える。

委員

- ・向日市なら創業・開業したいという人も多いのではないかと。ただ、最初はどうすればいいのか全くわからない、ということだろう。

委員

- ・PR不足はあるかもしれないが、空き店舗を使った開業しようとする人へのアドバイス等のメニューや支援のスキームは揃っている。

委員

- ・商工会で相談しようと思うと、結構年配の人が多く、IT関連の用語なども理解が難しく、もっと世代が近く、地元で上手くやっている人にアドバイスをもらえるような仕組みができないか。

委員（司会）

- ・いろいろなアイデアをいただいた。また、向日市商業活性化のシンボルのようなものも必要ではないかと感じる。次回もまた知恵を出し合ってほしい。

3 その他

- 次回、市内視察の実施について -

商業部会資料

商業部会

テーマ

向日町サティ、ライフシティ東向日からＪＲ向日町駅までの中心市街地の活性化策について

阪急西向日駅から向日神社までの地域の活性化策について

長岡宮跡（大極殿跡、朝堂院西第四堂跡）、桜の径、須田家住宅、富永屋などの歴史資源の活用